

令和3年(2021)1月 『年の終わりのしめ飾りづくり』

一宮ネイチャークラブでは、毎年師走の初めに、その年の稲わらでしめ飾りを作っています。今年は10名ほどの子ども達と10数名の大人が参加しました。

しめ飾りにはそれぞれ地域独特の形がありますが、上総地方で多く見られる、月の数だけ藁（わら）を垂らす形の飾りを作りました。

田植えから始まり、稲刈りをして米を収穫し、残った藁はしめ縄やしめ飾りとして使う。自然の循環の中で農業が成り立って来た事を、子ども達に体験を通して感じ取ってもらいたいものです。

神社のしめ縄は、神を迎える、あるいは神聖な場との境を示すもので、その年の稲わらを使って毎年作り直されています。お正月、神社に行くことがあれば、どんなしめ縄が飾られているか見てください。

<問合せ先>

吉田 42-6784 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

